

公益社団法人日本精神保健福祉士協会 生涯研修制度について

2020年1月31日

公益社団法人日本精神保健福祉士協会
会長 柏木 一 恵

● 団体認定による国家資格の「質の担保」に対する要請の高まり

→ 質の維持・向上に努めることが求められる。

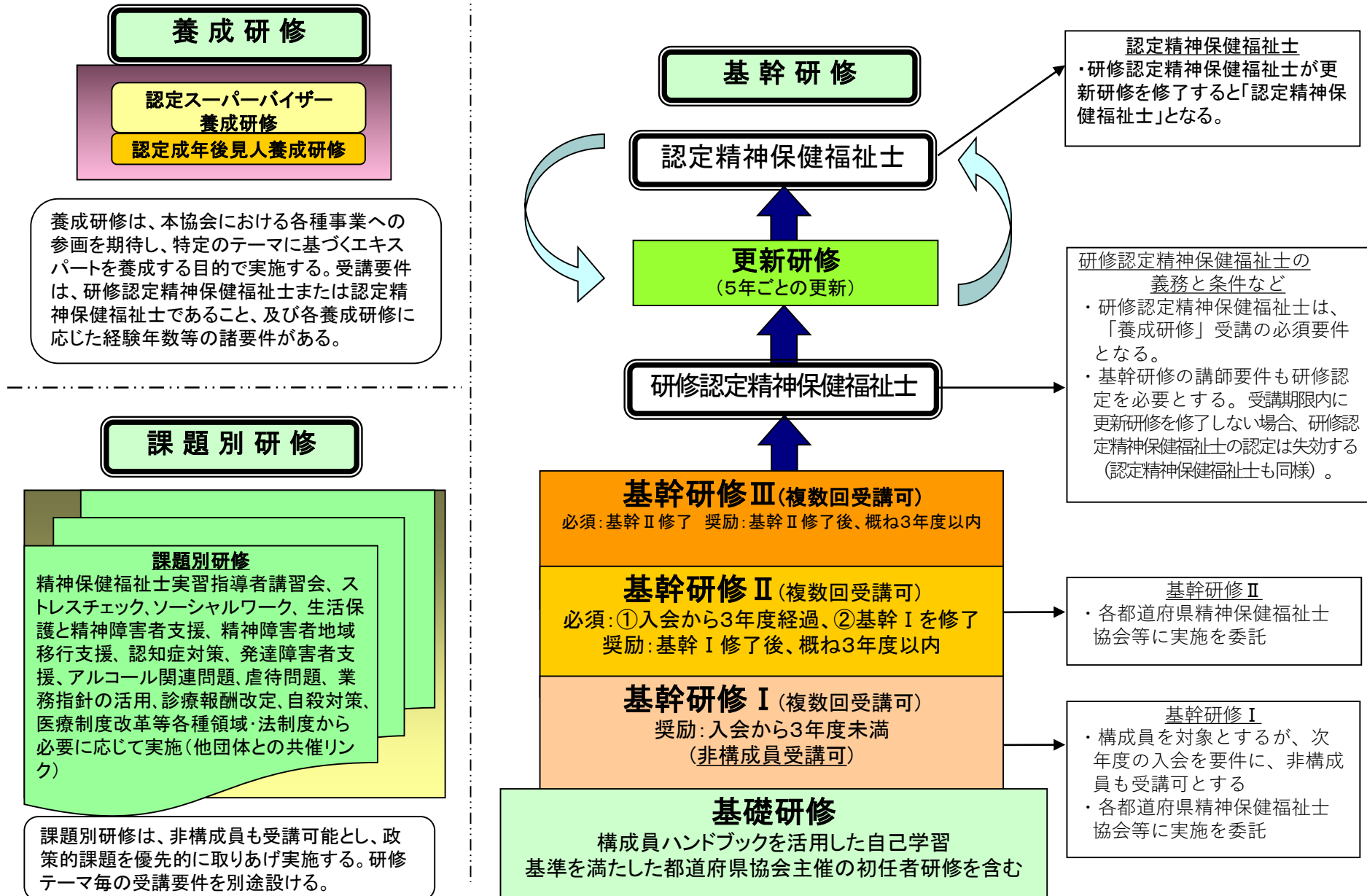
- 専門職である以上、その研鑽は職業人生の生涯にわたり続けられるべき。
- さらに、本協会がおこなっている、診療報酬への算定、施設・機関への必置などの要望の根拠としても質の担保は重要である。
- 認定精神保健福祉士に、特に依頼される業務や役割の創出も今後は模索し、目指していく。



● 専門職としての信頼を高めるため、**専門職能団体としての責任**を果たすべく、本制度の創設を決定した。

- 資格取得はPSWの最低条件。本当の専門職としての教育は現場における資格取得後の教育の在り方にかかっている。
- 生涯教育は本人がまずその必要性を認識するところから始まる。

(公社) 日本精神保健福祉士協会生涯研修制度体系図



課題別研修の実施状況（年度別）①

年度	研修テーマ
2008年度	<ul style="list-style-type: none"> ・生活保護と精神障害者支援（3か所）
2009年度	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回スーパービジョン研修 ・生活保護と精神障害者支援（2か所） ・触法精神障害者支援に関する研修会（2か所） ・ソーシャルワーク研修2009～知識と技術を高めよう～ ①認知症支援 ②アルコール関連問題支援 ③自殺対策 ④オムニバス研修 ・成年後見に関する研修 ・スクールソーシャルワーク研修 ・発達障害者支援と精神保健福祉士 ・ソーシャルインクルージョンを目指して ～医療観察制度における地域処遇推進のための支援者研修～（2か所） ・精神保健福祉援助実習における「認定実習指導者養成」モデル研修（2か所）
2010年度	<ul style="list-style-type: none"> ・オムニバス研修～精神保健福祉士の魅力（3か所） ・スーパービジョン研修 ・精神保健福祉士の専門性～業務指針の意義と活用を考える～ ・ソーシャルワーク研修2010 ①相談面接技法 ②就業支援 ③認知症支援 ④オムニバス ・生活保護と精神障害者支援（2か所） ・成年後見に関する研修 ・精神保健福祉士実習指導者講習会（11か所）

課題別研修の実施状況（年度別）②

年度	研修テーマ
2011年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ ソーシャルワーク研修2011～知識や技術を高めよう～ <ul style="list-style-type: none"> ①深めよう権利擁護～身近に潜む人権侵害～ ②業務指針の理解と活用 ③障害特性の理解と支援 ④地域生活移行支援は進んでいるの？～医療・福祉の連携はこう作る！ ⑤精神保健福祉士の魅力（初任者・学生向け） ⑥就労支援にかかわる精神保健福祉士 ・ 成年後見に関する研修 ・ 精神保健福祉士による災害支援活動に関する研修（3か所） ・ 精神保健福祉士実習指導者講習会（12か所） ・ 認知症の人の「退院支援・地域連携パス」研修（2か所）
2012年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害支援活動に関する研修（5か所） ・ 成年後見に関する研修 ・ ソーシャルワーク研修2012～知識や技術を高めよう～ <ul style="list-style-type: none"> ①「医療」と「地域」の有機的な連携とは？ ②認知症の人の支援に関わる精神保健福祉士 ③相談面接技法を学ぶ ・ 精神障害者の地域生活移行支援に関する研修（3か所）
2013年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 精神障害者の地域生活移行支援に関する研修（3か所） ・ ソーシャルワーク研修2013～知識や技術を高めよう～ <ul style="list-style-type: none"> ①精神保健福祉士による災害支援活動（初級編、アドバンス編） ②精神保健福祉法改正とP S W ③支援の姿勢と面接技法を学ぼう ・ 成年後見に関する研修（2か所） ・ 精神保健福祉士実習指導者講習会（12か所）

課題別研修の実施状況（年度別）③

年度	研修テーマ
2014年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルワーク研修2014～知識や技術を高めよう～ <ul style="list-style-type: none"> ①業務指針の意義と実践的活用に向けて ②支援の姿勢と面接技法を学ぼう ③精神保健福祉士による災害支援活動 ④P S Wの成長を支える力～失敗からの学びとO J T、S Vの活用～ ⑤改正精神保健福祉法と本人中心の支援～退院後生活環境相談員と相談支援専門員～ ・成年後見に関する研修（2か所） ・ソーシャルワークの価値・理念に基づく実践力の向上～「精神保健福祉士業務指針」の意義と実践的活用に向けて～ ・精神保健福祉士実習指導者講習会（12か所）
2015年度	<ul style="list-style-type: none"> ・精神保健福祉士実習指導者講習会（5か所） ・ストレスチェック実施者研修（2か所） ・ソーシャルワーク研修2015～知識や技術を高めよう～ <ul style="list-style-type: none"> ①理想的な相談支援(せいかつしえん)体制を追求する ②退院後生活環境相談員を知ろう!! ③支援の姿勢を学ぼう～かかわりの第一歩、面接と記録のスキルを学ぶ～ ④災害時、平常時に精神保健福祉士ができることは？～災害支援ガイドライン改訂を踏まえて～ ⑤P S Wの成長を支える力～スーパービジョンへのお誘い～ ・成年後見に関する研修 ・精神保健福祉士の成長を促す「業務指針」活用法（3か所）
2016年度	<ul style="list-style-type: none"> ・精神保健福祉士実習指導者講習会（5か所） ・ストレスチェック実施者研修（3か所） ・精神保健福祉士の実践力を高める「業務指針」の活用（3か所） ・「精神保健福祉士業務指針」講師養成研修（2か所） ・成年後見に関する研修 ・ソーシャルワーク研修2016～知識や技術を高めよう～ <ul style="list-style-type: none"> ①成年後見に関する研修 ②支援の姿勢を学ぼう～かかわりの第一歩、面接と記録のスキルを学ぼう～ ③障害者総合支援法改正を見すえて社会から期待される精神保健福祉士になるために～精神保健福祉士の価値・視座と実践技術～ ④実習指導者フォローアップ研修～実習指導の質を高めよう～ ⑤精神保健福祉士として歩んでいくために～精神保健福祉士の醍醐味とは～

課題別研修の実施状況（年度別）④

年度	研修テーマ
2017年度	<ul style="list-style-type: none"> ・精神保健福祉士実習指導者講習会（4か所） ・ストレスチェック実施者研修（3か所） ・成年後見に関する研修 ・ソーシャルワーク研修2017冬～知識や技術を高めよう～ <ul style="list-style-type: none"> ①実践を見える化する方法を学ぼう！ ②ソーシャルワークの視点から日常業務を再構築しよう～「精神保健福祉士業務指針」を活用した専門性の確認～ ③精神保健福祉士による災害支援活動 ④退院後生活環境相談員の業務と視点を見直そう ・ソーシャルワーク研修2017春～知識や技術を高めよう～ <ul style="list-style-type: none"> ①働くことを支える～産業精神保健福祉分野のPSW養成基礎講座～ ②司法精神保健福祉領域におけるPSWの挑戦～加害と被害をこえて～ ③精神保健福祉士として歩いていくために～精神保健福祉士の醍醐味とは～ ④共生社会の実現に向けて、今こそ地域に目を向けよう！～高齢精神障害者の途切れない生活のために～ ⑤ケースワーカーからソーシャルワーカーへ～個別支援で完結せず、地域ニーズに向き合い地域福祉の向上を目指す～ ⑥実習指導者フォローアップ研修～実習指導の質を高めよう～
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> ・精神保健福祉士実習指導者講習会（4か所） ・ストレスチェック実施者研修（3か所） ・成年後見に関する研修（2か所） ・ソーシャルワーク研修2018 <ul style="list-style-type: none"> ①真の「連携」「協働」体制を生み出すために～精神保健福祉士に求められる“伝える”力～ ②ソーシャルワークアセスメントスキルを学ぶ～クライアントの全人的理解をめざして～ ③精神保健福祉士の思考過程を可視化する ・「みるみるみえる 人の暮らしと依存症」～確かなりカバリー支援と地域特性を生かしたネットワークのために～（2か所）

認定スーパーバイザー養成研修による スーパービジョンの継続的展開への取組

- 受講要件
- ・認定精神保健福祉士
 - ・認定SVRからのSV経験

- ①義務として
- ・スーパービジョンの実践
 - ・研修など地域の人材育成への参画
 - ・研修の受講
- ②5年ごとの更新制である



講義1	スーパービジョン概論	リフレクション	グループ討論
講義2	ソーシャルワーカー論	リフレクション	グループ討論
講義3	ソーシャルワーク業務論	リフレクション	グループ討論
演習1	スーパービジョン演習 I (210分)	事例を読み解き, 検討を加える	
演習2	スーパービジョン演習 II (120分)	同上	
講義4	スーパービジョンの課題	リフレクション	グループ討論
全体会			

講義80分, リフレクション20分, グループ討論60分。